

6月定例会

個人質問

市民病院について



市民病院

定住促進について 角田訓也議員

議員 本市の平成22年度末の人口は前年度比702人の減で53,981人である。今後も、定住促進の積極的な推進が必要ではないか。

市長 平成22年度の人口は、思っていた以上の減少をしているが、その要因等もしっかりと把握していきながら、新たな決意で引き続き、人口定住促進についても積極的に取り組んでいきたいと考えている。

定住促進について

議員 市民病院は、産婦人科と小児科を併設して医療提供できる井笠地域唯一の病院だが、今後に不安を感じている。市長の考えをたずねる。

市長 岡山大学への派遣要望はもとより、岡山県医療対策協議会に対しても医師確保の具体的な方策を早急に実施するよう要望していく。また、医師求人求職支援センターへの登録を行うなど、常勤医師の確保を今後の政策的課題ととらえて、関係機関に対して粘り強く働きかけ、医療体制の充実を図つていきたいと考えている。

し尿・浄化槽汚泥の処理について

議員 し尿・浄化槽汚泥は、バキュームカー等から一旦環境課の貯留槽に貯めて、大型のバキュームカーで干拓地内の西部衛生施設組合の施設に運搬し、そこで処

理を行つて公共下水道に放流しているが、もつと効率的な処理ができるないか。

市長 今後、下水道の普及が進み、し尿・浄化槽汚泥量が減少し、各市町の終末処理施設で受け入れ可能な状況になつたら、効率的な処理について検討していかなければならぬと思っている。

議員 棟は、順次耐震化に対応する予定としている。

教育長 小・中学校の耐震化率は、本年4月1日現在で55・8%となつてある。

学校施設の耐震補強工事は、計画の見直しを行い、約11年前倒しの平成30年度までに完了する計画としている。

老障介護について

議員 年老いた親が障害を持つ子を介護する老障介護の現状は本当に大変である。

障害を持つ方が地域で暮らすために何が必要なのか、本市の現状と取り組みについてたずねる。

市長 障害者自立支援法の規定による共同生活介護等の事業所開設時の施設整備に係る補助金の交付や、島しょ部での居宅介護事業等の事業費補助を行つてゐる。国が地域で暮らせる方策についても検討してみる必要があると思つてゐる。

ほかに★カブトガニ博物館★下水道の水洗化率★JR笠岡駅の送迎の車★住吉港周辺の浸透水について質問しました。

金藤照明議員

わが街の防災（地震）対策について

議員 学校や公共施設の耐震化が急がれる。本市の進捗率と今後の取り組みはどうのようになっているのか。

市長 学校を除く施設45棟のうち、耐震化の基準を満たしている建物は30棟で、残りの庁舎・保育所など15

がん治療の負担軽減について

議員 早期にがんが発見されても、治療には高額な費用が伴い、治療を断念しなければならない方もいる。

市長 市としては、現在国で制度の充実が検討されていることから、国に対してしっかりと働きかけていく必要があると思つてゐる。

議員 患者が、治療をやつていいこうと希望をもつていて、援助が少しでもできないか。

市長 市が単独でどういった支援ができるかということも検討してみる必要があると思つてゐる。

